



ふちゅうこくさいこうりゅう 府中国際交流サロンは、府中に住む
にほんじん がいこくじん なかよ たす あ
日本人と外国人が、仲良く助け合っ
たの せいかつ ねが かつどう
楽しく生活していくことを願って、活動を
つづ
続けています。

くろすろ〜ど



会報誌

2015/11月号

〜サロン月間カレンダー11月〜

「バーベキューの集い」報告

■サロンでお茶会

11月6日(金) 午前10時30分～12時

「絵手紙教室」

(参加費100円～200円)

11月13日(金) 午前10時30分～12時

「生け花教室」(花代500円) 要予約

11月20日(金) 午前10時30分～12時

「ダンス練習」

11月27日(金) 午前10時30分～12時

「ダンス練習」

★対象はサロン学習者またはボランティアの方。

★申込みはサロン事務局まで。

■ボランティア研修会

11月18日(水) 午前10時～12時

場所：3F会議室

- テーマ：1. 「外国人にとってやさしい日本語とは？」
2. 新人ボランティアさんのデビューの感想

■企画部会イベント

11月7日(土) 午後2時～午後4時 (要予約)

国際理解講座 「私のふるさとを語る」

場所：ルミエール府中 2階講習会議室

■井戸端会議 (おしゃべり会)

11月25日(水) 正午 (12時) ～午後2時

企画部会 石田正子

10月24日、多摩川河川敷で恒例の「バーベキューの集い」がおこなわれました。

さわやかな秋晴れのもと、73名の方が集まりました。早朝から場所取り、器材食材の運搬から始まり、火を起こす人、野菜を切る人。今年はコンロも増えて6台で焼きました。お肉もお野菜もたっぷり、特にか、秋の主役のさんまもかわり大賑わい「塩味だけでこんなにおいしい!」、隣の鉄板では焼きそば「混ぜるのが大変!」でも焼きそばは大人気です。飲み物片手に食べながら、おしゃべりもたくさんしました。準備、焼く、食べる、片づける、今回は全部にみんなが参加しお手伝いして、バーベキューの楽しさ、おいしさを実感、体験できたと思います。

最後に集合写真、セルフタイマーで「ハイ、チーズ」カメラマン間に合ったかな?

お腹も心も幸せいっぱいの日でした。



世界の文化

「ヨーロッパへの旅行」

グエン フク ヒエン (ベトナム)

それは美しい一日でした。2015年6月24日、家族と一緒にヨーロッパへ旅行しました。

最初の目的地はジュネーブでした。東京からジュネーブまで19時間ぐらいかかりました。Emirate航空会社でつかいました。サービスはよくて、安くて、便利です。6月25日の13時20分にジュネーブに上陸しました。叔母のうちでちょっときゅうけいしてから、国連の本部を訪れました。国連の本部は広くて、色々な国の代表がいて、本部の中で絵がたくさんあります。

26日から28日までレマン湖、ローザンヌ、モントルー、ルミュゼオリンピックを訪れました。スイスがとってもきれいだと思います。



6月29日、パリへいきました。56.5ポンドと3時間15分かかりました。パリの建築家は印象的だとも思います。色々なところを訪れました。エッフェル塔（もちろん）、セーヌ川（非常にお勧め）、ルーブル博物館（とても広いです）、ベルサイユ城、ノートルダム聖堂（価値がある場所、高度）。

7月1日、ブリュッセルへいきました。51ユーロと1時間30分かかりました。ブリュッセルはおとぎ話の市です。ダウンタウンで小さなアイスクリーム店やおモチャがあります。ベルギーのビールをぜひ飲んでください。とってもうまいです。

ブリュッセルで色々なところを訪れました。たと

えば、小便小僧、ブリュッセル市庁舎、王室会議広場・・・

次の日、7月2日、駅でアムステルダムへ行きました。42ユーロと2時間ぐらいかかりました。アムステルダムを訪問する非常に価値でした。アムステルダムのチーズは安くて、とってもおいしいです。毎日、みんなはTram（電車）で移動します。私たちはhop-on hop-offバスに乗って市内観光をしました。



7月4日、もう一回ブリュッセルにもどり、飛行機に乗ってローマに旅行しました。

ローマのセンターにVatican cityがあります。パリとくらべて、ローマやVatican cityの建築家はもっと印象的だとも思います。いろいろなところを訪れました。サン・ピエトロ大聖堂、バチカン美術館、システリーナ礼拝堂、バチカン市国の庭園、サンピエトロ広場・・・

ローマの中心部にアイスクリームを食べることの価値があります。ローマやバチカンシティで3日間を過ごしました。



7月7日にウィーンへのフライトを取りました。ウィーンは芸術の街です。そして、ウィーン人がとっても親切です。みんなはもしウィーンを観光すれ

ば、ぜひオペラハウスへ行ってください。そこはオペラのショーがたくさんあります。ウイーンも hop-on hop-off バスに乗って市内観光しました。やすいです。

7月8日に飛行機でジュネーブへもどりました。私たちは home sweet home を感じます。観光したまちの中でジュネーブが一番好きです。お金持ちになれば、ジュネーブへハウスを買いに行きます。

7月11日15時30分に Emirate航空で東京へ帰りました。

私たちは一緒に幸せで温かい時間を過ごしました。そして、多くの経験を得ました。

私のお国自慢 ~6~

「母の味—チョンガクキムチ」

ユ オッキ カンコク
俞 玉姫 (韓国)

私が日本に来たのは2000年6月でもう15年目になります。半分日本人のように生活しているので、韓国の自慢話を依頼された時は正直『え~どうしよう』と思いました。今の韓国のことはあまりよくわかっていないからです。(恥ずかしい)。でも日本に15年住んでも30年50年が過ぎても私にとって変わらないものがあります。その話をちょっと自慢してみたいと思います。

今は私だけじゃなく、私の主人、子供達まで(一人次男を除く)大好きな、韓国の母の手作りのキムチです。キムチの中でも一番好きなのは小さい大根で作ったチョンガクキムチです。白菜キムチは皆さんご存知だと思いますが、チョンガクキムチは日本にはあまりないので珍しいと思います。ちょうど今の寒い時期にポカポカのヤキイモと一緒に一口でパクンと食べると『う~ん 美味しい』♪♪ 幸せってなんだろう？



これがしあわせですね。

母はいつもご飯を食べているとそばに座って(母自身は食わずに)『美味しい?』と聞いていました。昔私はあまり愛嬌がない娘だったので『うんまあまあ』と答えました。母のキムチは世界で一番だと思っていても口で表現できず今さら反省しているところです。私の代わりに長女が『おばあちゃんのキムチ最高』と言ってくれます。今私が5人の子供の母になってやっと、子供達の喜ぶ姿を見たい母親の気持ちがわかりました。

このように韓国ではキムチを自分の家で作る文化があつて母親の味が特別なものとして思い出に残るようになっていきます。とっても自慢できる家族の結びつきの深さが表れた文化だと思っています。韓国の人にとって母親の味は永遠なのです。

投◇稿

「山下先生への感謝でいっぱいです」

しょ きん ちゆうごく
諸 瑾 (中国)

私は9月11日右の眼が見えなくなったので、友達と一緒に病院にいきました。眼科でいろいろ検査をしたあと、お医者さんいいました。「あなたの右の眼は早急に手術をしなければなりません」。でも、私の友達は午後仕事があるので、一緒に居てもらえません。私はサロンの山下先生に電話をしました。山下先生はすぐに聖マリアンナ医科大学病院に来てくださいました。

私と山下先生とお医者さんと手術前の面談をしました。当日午後4時頃に入院することになりました。午後5時半から6時半まで、私の右の眼の緊急手術が行われました。山下先生はずっと手術が終わるまで待っていてくれました。私のおかあさんは上海に住んでいます。世話をしてもらえないです。でも、山下先生が母のようにしてくださいました。

感動します。

翌日、主人の会社の社長が病院に来てくださいました。お見舞いをくださりながら、おっしゃいました。「あなたのご主人は会社でとてもとても必要な方です」。私も非常に嬉しいです。そのあと、山下先生がまたお見舞いに来てくださり、おかしをいただきました。とても遠いのに病院まで来てくださり、私は先生の体の心配と感謝でいっぱいです。

新ボラさん紹介

「日本語ボランティアの一步」

水曜ボランティア 長谷川愛子

私は海外生活15年。現地では外国の方々が大変お世話になりました。

何年か前、府中の広報で国際交流サロンのことを知り、今度は私が外国人に役立つことが出来たらと思い、今年日本語ボランティア研修を受講しました。柏崎先生の講習では日本人に教える国語との違いなど、改めて日本語の難しさを感じつつも毎回新鮮な気持ちで楽しく学ぶことができましたが、回も終わりに近づくにつれ、本当に教えることが出来るのだろうかと不安になってきました。しかし、7月の見学会で、ボランティア、学習者との楽しそうな様子を見て「これなら出来そう・・・!？」と今までの不安が少し解消されました。

そして、その後の研修部会では、先輩ボランティアの方々から経験談を伺い、少しずつやる気だけは出てきました。どんな学習者に教えることになるのか、教材は何を使ったらよいのか、まだまだ不安はつきませんが・・・。

9月になり、2人の学習者に教える機会を持ちましたが、2人とも日本語検定を受けた、日本の会社に入りたいという若者です。一生懸命頑張る姿に私も夢中になって教えました。楽しかったけれど

疲れました。帰る道々、満足してくれたのだろうか、こんなやり方でよかったのだろうか・・・と、しばらく頭の中でそんなことばかり考える日々が続きました。でも、今は、今回はどんな学習者に会えるのか、それとも続けて来てくれるのかと楽しみにしています。

「お役に立てたら…」

月曜午後ボランティア 峯恵子

はじめまして、新ボランティアの峯恵子です。9月からサロンにお邪魔して、早、2か月が過ぎようとしています。皆様の仲間入りができたことを、嬉しく思っております。

私の娘は今、カナダで語学研修中です。渡航して、初めてバスに乗った時、銀行の口座を開いた時、具合が悪くなって病院に行った時etc… 苦勞しながらも、フレンドリーな人々のお蔭で随分助けられ、楽しい生活を送っています。

そんな影響で、私も日本にいらっしゃる外国の方々への何らかのお役に立てたらいいなと思っており、少しでも元気で楽しく充実した日本での生活を送ることが出来ますよう、微力ではありますが一緒に漸進していけたらと思います。

学習者さんにどんな事をお伝えできるか、とてもワクワクしております。

好きな事は、絵画。似顔絵も描きます。お酒も少々？飲みます。スイーツも好きです。

どうぞよろしく。



クリスティアン ボッフエリ さん(イタリア)



「短期間ずつですが、4回目の来日です」

キッコというニックネームは、イタリア語で小さいという意味です。子供のころとても小さかったので、そう呼ばれてきたそうですが、今は186cmの長身の男性です。

出身はミラノの近くのバップリオ・ダッダ。この町にはメリチ(MELZI)家の大きな別荘があり、レオナルド・ダ・ビンチが時々滞在していたうえ、ダ・ビンチ方式という有名な運河のあるきれいなところ

です。水門(閘門)を開閉することにより水位を調節して舟が航行できるようにダ・ビンチが考案し、世界中に普及した水閘式運河の発祥の地とのことです。

クリスティアンは日本で版画、インド、スリランカでシルクスクリーンプリンティング、ブラジルでリトグラフ、ヨーロッパでエッチングなど、市ひろく芸術活動をしています。ブラジルで逢い、結婚した日本人の奥様も前衛芸術家として活躍しています。

好きな日本語は「ちょっと・・・」です。なにか頼まれた時、「ノー」と言うより「ちょっと・・・」というのはとてもソフトな断り方で気に入っています。

これから11月、12月はカタールのホテルでデコレーションの仕事があり、その後イタリアに帰り、2月には日本に戻ってくるという世界を仕事場にしている芸術家です。(堤 林)

「柏崎雅世先生フォローアップ講座」

—もう一度「て形」を確認しましょう—

けんしゅうぶかい かよう ゆみ こ
研修部会 萱生由美子

10月15日は新ボランティア9名を含む24名が参加しました。

始めに動詞の「ます形」を「て形」に、「て形」を「ます形」に変え、Ⅰ～Ⅲのグループ分けをする問題をグループワークでやってみました。結果は、日本人でも意外と間違いやすいものでした。外国人にとつてはもっと難しいものだと想像できます。

柏崎先生のお話と要点は以下の通りです。

Ⅰ なぜ「て形」は大切なのか

◆「て形」から多くの表現文型(話し手が話したいことを表現するための文型)が作られる。

◆「て形」を習得することで、言いたいことの幅がぐっと広がる。

そして、次のことを表現する「て形」を使った文型はどんな文型か(『みんなの日本語』提出順)という問題です。

- 1 命令・指示 2 依頼 3 勧め 4 現在進行中 5 許可求め 6 許可 7 長期的な継続状態 8 禁止
- 9 順次動作 10 他人から恩恵を受ける①②
- 11 他人の動作の恩恵を与える 12 逆接の仮定条件

1から12の文型と例文を各グループ毎に考え発表しました。

〈例〉

1 命令 指示	文型	例文
	～てください	本を読んでください

このグループワークを通して、初級Ⅰの「て形」から作られる文型がすっきり整理されたように思われます。また、初級Ⅱについても9種類の文型と例文作りを試みました。

II 「て形」の作り方 (資料参照)

動詞を分類する際、①Ⅲグループ→②Ⅱグループ→③Ⅰグループの順にする。(難しいⅠグループは一番最後にする。)

最後の質問タイムにも柏崎先生は丁寧に答えて下さいました。和氣あいあいと楽しく、かつ、ちょっぴり緊張しながら学べた2時間でした。(詳細は研修部ファイルをご覧ください。)

日本語おちぼひろい ~30~

「書きことばの味わい」

金曜夜ボランティア 和田泰弘

「頭倒さに手を垂れて

汚れ木綿の屋蓋のもと

ゆあーん ゆよーん ゆやゆよん」

これは、「幾時代かがありまして 茶色い戦争がありました」ではじまる、中原中也の「サーカス」という詩の一節です。「ゆあーん ゆよーん ゆやゆよん」はオノマトペで、サーカス小屋のブランコの揺れる様子を表現していますが、暗い時代に身を置く作者自身の心象風景がそれに重ねられ、揺れる不安な心が手にとるように伝わります。これを「ユアーン ユヨーン ユヤユヨン」と片仮名にすると趣がガラッと変わりますね。私には子供向けの戦隊ドラマの主人公が唱えるおまじないのように響きます。

私たちがふだん使う書きことばには、表意文字の漢字と表音文字のひらがなとカタカナがあります。ひらがなとカタカナは、渡来人が伝えた漢文を読む作業の過程で生まれたといわれています。漢字は、本来の表意文字とは別に、意味を捨て、日本語の音を表すための表音文字としても使われました。それが真仮名で、『万葉集』に使われたことで万葉仮名とも呼ばれます。

「うらうらに 照れる春日に 雲雀あがり

こころかなしも 独りし思へば」(大伴家持)は、「宇良宇良 照流春日 比婆理安我里 情悲し毛 比登里志於母倍婆」という真仮名をあてて読んだのです。その真仮名が、平安時代の人々によりひらがな、カタカナへと姿を変えていきました。

私たちは今でこそ、漢字、ひらがな、カタカナを自在に組み合わせ、それぞれの味わいを使い分けられますが、戦後、漢字廃止論や、伝統的かな遣いから新しいかな遣いへ移行する際の混乱があり、表意・表音文字には今日に至るまで苦難の道があったのです。その辺のことに、作家の水村美苗が自著『日本語が亡びるとき』で興味深い考察を行っています。読書の秋に、おすすめの一冊です。漢字とカタカナの組み合わせで格調高い文体を味わえる作品に、「戦艦大和ノ最期」があります。太平洋戦争末期、特攻出撃し撃沈された戦艦大和の乗員で、九死に一生を得た吉田満の小説です。漢字とカタカナから発せられる緊迫感と、ひたすら事実のみを描写する記録性が際立ち胸に迫ります。秋の夜長、書きことばの味わいを楽しんでみては。

私の☆つばやき

～サロン・ツイッター・コーナー～

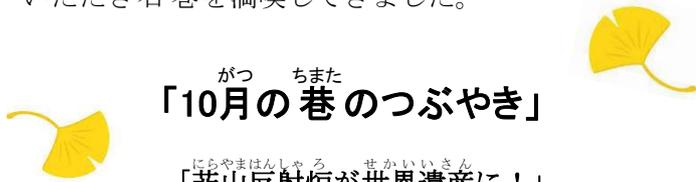
「石巻で歌ってきました」

金曜午後ボランティア 小岩井雅人

韓国の方たちと宮城県石巻で慰問コンサート。誰が名づけたか、シルバーウィーク。私は9/21と9/22に日本で働く韓国人の方々と一緒に宮城県石巻市を訪問し(癒しと安らぎのコンサート)で歌を歌ってきました。日本にある教会で韓国人の指揮者の呼びかけで合唱団有志が参加したものです。が現地は日本のボランティアもだいぶ少なくなりましたが、この合唱団は定期的に訪問して交流を深める姿が素晴らしいことだと感じています。訪問先の方々は財産も家族もなくしてこれからどうやって過

ごしていくのかまだまだ道筋がつかない方もいて、
私たちの歌がひと時でも安心して気持ちになる
一助になってくれれば良いと一生懸命歌いました。

9/21はアトリエ DaDa ホール、9/22は泊コミュニティーセンターで演奏を行いました。元気を差し上げるはずが、協力しながら生活している様子に逆に元気もいただいてまいりました。海産物が美味しく、道すがら食べたネギトロといくらの入った二色丼、漁師の方が焼いたホタテ焼き、地域奥様があげたあなごの天ぷら、生ワカメも絶品でお腹一杯いただき石巻を満喫してきました。



「10月の巻のつぶやき」

「蕪山反射炉が世界遺産に！」

先日、中伊豆を旅行した折のこと。蕪山にある国指定史跡の反射炉を訪れたところ、平日にもかかわらず黒山の人だかり。なぜ、と思いきや、「蕪山反射炉が世界遺産に！」という横断幕がここそこに。そうか、今年7月に世界遺産に登録されたんだと気がついた。すると、連れ合いが、「幕の文字の『が』だけが白くて新しいね」とつぶやき、「世界遺産をめざして作った『蕪山反射炉を世界遺産に！』という幕をそのまま利用し、急遽、『を』だけを『が』に貼り替えたんじゃない」と。これは、なかなかの推理。経費節減は世界遺産に通ずる精神。小さな自治体の涙ぐましい努力を目の当たりにし感動。

「マンション杭打ち工事偽装事件」

またまた、マンションの偽装工作が発覚。終の棲家探しは誰にとっても人生の一大テーマ。汗水たらして手に入れた住まいが欠陥品とは！騙した相手を殴り倒しても治まらない怒りをどこにぶつけたらいいのか。建築業界にいた知り合いが、「業界の裏世界は怖いくらい面白い！」と。面白いのはいくらでも歓迎だが、怖いのはゴメン！家を探している友人が、「マンションを買うときは、くいのないように。」とため息ついた。後悔先に立たず…。(酔猪)

みんなの広場

「ダイヤモンド富士」

アントネッラ セニセ (イタリア)

富士山の山頂に太陽が重なる。
一年間で数日しか見ることができない希少な
光景を鑑賞するイベントです。

太陽が山頂とぴったり重なるとき、まるでダイヤモンドが輝くような光の現象が起こることから、ダイヤモンド富士と呼ばれています。

天気さえ良ければ、サンシャイン60展望台から、夕日が沈むその瞬間にダイヤモンド富士がはっきり見えます。

このイベントについてインターネットの情報を読んで池袋のサンシャイン60ビルのトップへ上ることに決めました。

1月24日、夫といしょに電車に乗って池袋へ行きました。

まずはランチを駅の近くの人気の寿司屋で食べました。あまり高くなくておいしかったです。

そのあとで10分ぐらい歩いてサンシャイン60ビルへ着きました。

すぐく高速のエレベーターで最上階へ上がりました。チケットを買って展望台から富士山を探したけれどぜんぜん見えなかった。残念でした。

富士山、どこに隠れていましたか。

今後のダイヤモンド富士は11月だろうと言われています。すぐだね。



「印鑑が無くて大丈夫」

金曜午後ボランティア 辻村俊雄

留学生が家賃の振込みで手数料を取られたと憤慨してました。振込先が三菱BKなので三菱のATMで振り込んだようですがHPを見ると432円と書いてあります。

留学生など日本に来たばかりの外国人は郵貯BKに口座をつくるようです。理由の一つは、印鑑が無くてサインで口座を開設できるから。彼女も郵貯BKに口座があるので、郵貯のATMを使えば無料で振込みが出来たのです。ガス、水道も今後振込みがあるので、郵貯のATMを使うように話して、口座引落としが便利である事も教えました。銀行によってHPでの用語が異なるので解り難いのですが、法律上は在日6ヶ月以上でないと振込みは不可と書いてあります。

サロンの近くの郵貯BKで確認した所、係員が規則を調べて振込みは不可、口座引落としは可能とのことでした。

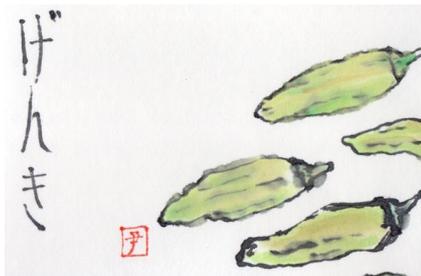
考えてみれば、留学生は日本に来て直ぐにスマホを契約し口座引落としにしているの、ヨドバシの店員の方が詳しいのかも知れません。

絵手紙

リュウ (中国)



ワン (香港)



～編集後記～

先日、武蔵小金井駅前のホールで開催された「歌う会」に行ってきました。この「歌う会」は、多摩地域にある8会場で日頃から合唱に励んでいる方々が一堂に会して、全員で元気よく思う存分歌う場です。歌った曲は「夜明けの歌」「ローライ」「長崎の鐘」「知床旅情」などなつかしい歌ばかりで、みんなで声を合わせる気持ちよさを実感してきました。参加者は60才～80才代と年配の方中心ですが、全員が一体となった歌声が響き渡り、熱気あふれる3時間でした。

やっぱり、シルバーパワーはすごい！！たくさん元気をもらって、楽しい一日になりました。(安島)



イラスト (安島)

【編集】会報部会/ 安島、坂倉、篠塚、進藤、高柳、堤林、増田、和田

【事務局】電話：042-352-4178

E-mail : salon@fuchukokusai. gr. jp

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai. gr. jp>

